

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

北海道 長万部町

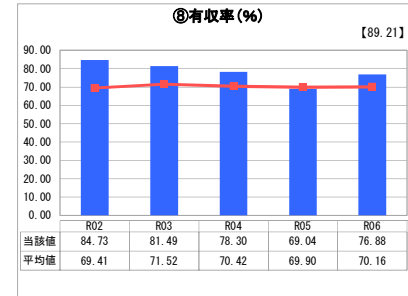
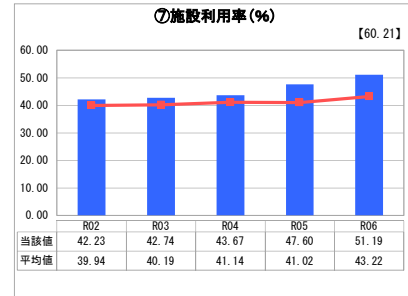
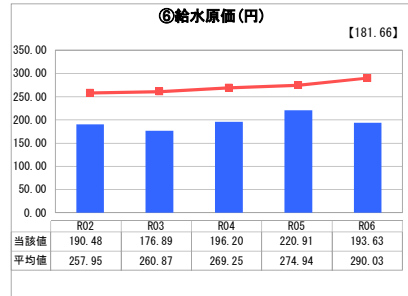
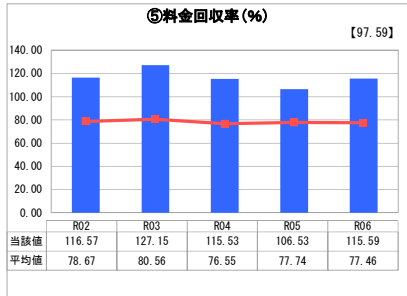
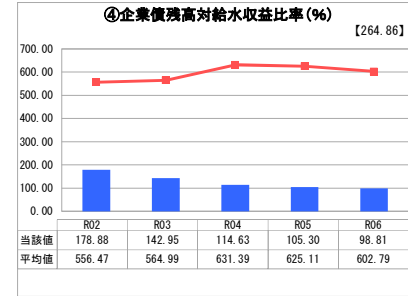
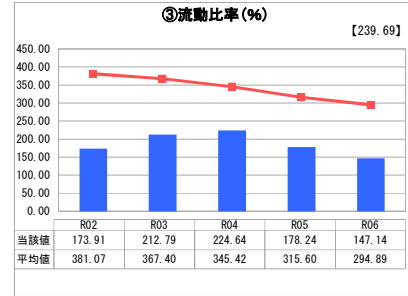
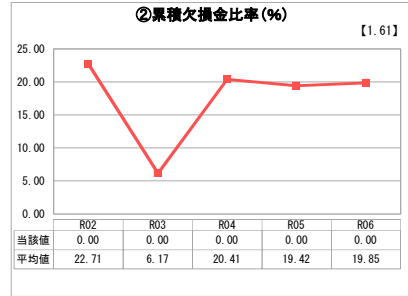
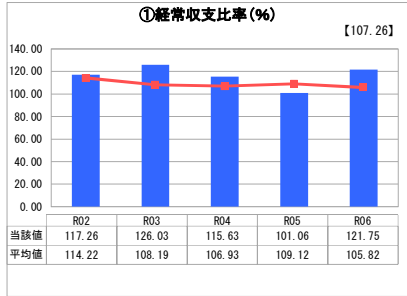
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A9	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)	
-	63.27	95.54	3,872	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
4,696	310.76	15.11
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
4,457	21.92	203.33

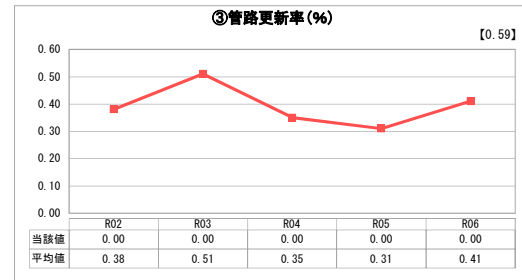
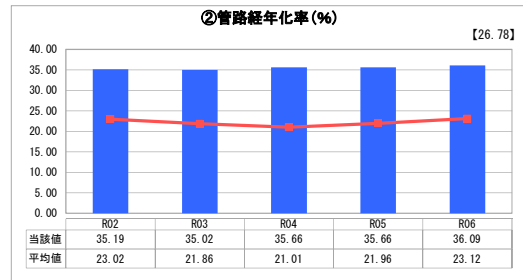
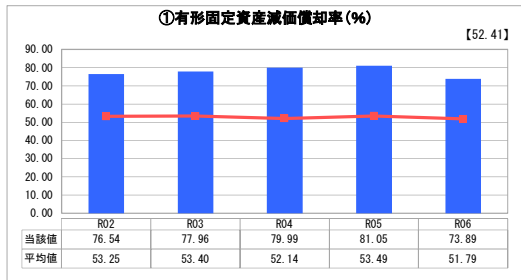
**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率 平成24年度から100%を上回る黒字経営が続いている。令和5年度は類似団体平均を下回ったが、令和6年度は上回った。  
 ②累積欠損比率 累積欠損金は無い。  
 ③流動比率 100%は超えているが、現金等、流動資産を注視していく。  
 ④企業債残高対給水収益比率 類似団体平均より低く推移しているため、収益の向上に努めなければならない。  
 ⑤料金回収率 給水に係る費用は、給水収益で賄えている状況である。  
 ⑥給水原価 類似団体平均を下回っているが、若干上昇してきているため、抑制に努める。  
 ⑦施設利用率 年々上昇しており、類似団体平均を継続的に上回っている。  
 ⑧有収率 令和5年度は少し減少したが、6年度は改善し、また上昇できた。

### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却費 類似団体平均を上回っている。新幹線工事対策で設備の新しい取得があり、今後も高止まりするが、除却も行っていく。  
 ②累積欠損比率及び③管路更新率 管路経年化率は類似団体平均を大きく上回り、管路更新はまだ進んでいないため、財源の確保と計画な整備を今後進めなければならない。

## 全体総括

令和6年度に水道事業経営戦略を改訂した。経営の基本方針は「上水道の供給基盤の維持」としている。経営目標は経常収支比率100%以上と料金回収率100%以上である。そのために5つの取り組みを行う。①適切で計画的な事業執行 維持管理費の増加から厳しい経営であるが、財政計画を元に健全で持続可能な経営を行う。②効率的な投資及び投資の標準化 投資の集中化による一時的財政負担を回避し、財源として補助金等の活用を推進していく。③弾力的な水道料金の見直し 施設等の老朽化が進むため、大規模な更新改修が今後も必要であるため、財務状況の検証などを行い、料金水準の設定と料金改定の時期等について適正に見直しを行う。④水道事業の理解促進 衛生的で快適な生活に水道は不可欠であるとの理解促進に努める。⑤人材の育成 人口減少等の社会情勢の変化に伴う課題に柔軟に対応できるよう、職員確保育成に努める。